

第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会
7th Annual Meeting of Japanese Society of HTLV-1 and
Associated Diseases, JSHAD

寄附趣意書
【2020 年 6 月発行】

第 7 回日本 HTLV-1 学会学術集会
会長 松岡 雅雄
(熊本大学生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科学 教授)

第7回日本 HTLV-1 学会学術集会への寄附のお願い

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、第7回日本 HTLV-1 学会学術集会を2021年11月5日(金)～7日(日)の3日間、熊本市(熊本城ホール)にて開催させていただくことになりました。

成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)が高月先生らによって独立した疾患として1977年に報告され、1980年にその原因ウイルスであるヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)が発見され1981年にはATLがウイルスによって起こる疾患であることが明らかになりました。HTLV-1は最初に発見されたヒトレトロウイルスであり、その研究は医学に大きなインパクトを与え、また日本が誇る研究成果です。高月先生は元熊本大学医学部第二内科教授であり、日沼教授は元熊本大学医学部微生物学教授です。このように熊本大学はATL、HTLV-1と深く結びついてきました。この熊本の地で第7回HTLV-1学会が開催されることは我々にとりまして望外の喜びです。

HTLV-1の発見以来、ATL、HTLV-1関連疾患、HTLV-1感染症の理解は大きく進みました。そしてかつて根治できる治療法がなかったATLにも治癒したといえる症例が蓄積してきています。しかし、依然として治療困難な症例は多く、ATL、HTLV-1関連脊髄症(HAM)などのHTLV-1関連疾患、HTLV-1感染症にも多くの謎が残されています。C型肝炎ウイルスに対する抗ウイルス薬療法の発展、パピローマウイルスに対するワクチンの開発により、これらの発がんウイルスに関しては根絶への道筋が見えてきました。しかし、HTLV-1感染症は未だ根絶には遠く今後、一層の対応・対策が必要とされています。また、多くのHTLV-1関連疾患の患者さんの治癒を目指した治療法開発が望まれています。このため本学術集会のメインテーマは「令和時代のHTLV-1研究・診療の最前線～治癒と根絶を目指して～」としてHTLV-1関連疾患の治癒、HTLV-1感染症の根絶に向けた研究成果を期待したいと思います。

日本がリードしてきたHTLV-1研究の一層の発展、治療法の開発、感染症対策の推進を目指し、2013年に「一般社団法人 日本HTLV-1学会」が設立され、学術集会の開催により研究成果の発表、情報交換を重ねてまいりました。この学術集会により研究者、医療者、患者会の皆様の情報交換が進み研究、診療の推進力となってきました。本学会でも一層の進展を期待しております。当初、予定していた2020年8月の学会は新型コロナウイルスの影響を受け、2021年11月に延期することとなりました。11月10日は「世界HTLV-1 day」であり学会を開催しHTLV-1に関する最新の研究成果を発信するには最適であると考えております。

HTLV-1感染症の様々な問題の解決と今後の研究・診療の発展を目指す上記の趣旨にご賛同をいただき、第7回学術集会へのご支援を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

謹白

2020年6月吉日

第7回日本 HTLV-1 学会学術集会 会長
松岡 雅雄



開催概要

1. 学会の名称

和文名：第7回日本HTLV-1学会学術集会

英文名：7th Annual Meeting of Japanese Society for HTLV and Associated Diseases, JSHAD

2. 主催機関および責任者名

第7回日本HTLV-1学会学術集会

会長 松岡 雅雄

(熊本大学生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科学 教授)

3. 会期

2021年11月5日(金)～11月7日(日) (3日間)

4. 会場

熊本城ホール

〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3番

5. 学会の目的と開催意義

HTLV-1関連疾患の総合対策のために平成25年11月1日に「一般社団法人 日本HTLV-1学会」が設立され、1年に1度の学術集会を開催し基礎研究者と臨床医が一体となってこの対策に取り組むことになりました。第3回～第6回の学術集会では300名前後の基礎研究者、臨床医、医療関係者が参加し、HTLV-1とHTLV-1関連疾患に対する基礎研究、治療法の開発について多くの研究成果発表や情報交換がなされました。

第7回の学術集会では、基礎研究、臨床研究、治療法開発、診療体制までを含んだ幅広い議論を行います。本学術集会においてHTLV-1感染症に関わる多分野の研究者が情報を共有し研究が進展することで、HTLV-1関連疾患で苦しむ患者様やHTLV-1キャリアのために貢献することが期待されます。

6. 開催計画

(1) テーマ

-メインテーマ：「令和時代のHTLV-1研究・診療の最前線～治癒と根絶を目指して～」

-セッションテーマ

疫学、母子感染、ワクチン、ウイルス学、免疫学、腫瘍学、慢性炎症性疾患、

ATLの基礎研究、ATLの臨床研究、HAM、HTLV-1関連疾患(ATL・HAM以外)、

症例報告(ATL・HAM・その他の関連疾患)、臨床検査・バイオマーカー、キャリア支援

(2) 日程表(予定)

月日	会場名	午前	昼	午後
11月5日 (金)	口演会場			学術シンポジウム
	ポスター会場		(理事会、各種委員会)	ポスター設置
11月6日 (土)	口演会場	開会式 セッション	共催セミナー	フラッシュトーク セッション 共催セミナー
	ポスター会場	ポスター閲覧		ポスターセッション (意見交換会)
11月7日 (日)	口演会場	セッション 共催セミナー	共催セミナー	公開シンポジウム 閉会式
	ポスター会場	ポスター閲覧		ポスター閲覧・撤去

(3) プログラム (予定)

- ◆ 特別講演
- ◆ シンポジウム
- ◆ 一般演題 (口演, ポスター)
- ◆ 公開シンポジウム
- ◆ 共催セミナー

(4) 参加予定人数

300名 (研究者、医師、コメディカル、学生)

(5) 過去の開催実績

	開催年	開催地	参加者数
第1回 HTLV-1 研究会	2008年8月	東京	153名
第2回 HTLV-1 研究会	2009年8月	東京	166名
第3回 HTLV-1 研究会	2010年8月	東京	175名
第4回 HTLV-1 研究会	2011年9月	東京	181名
第5回 HTLV-1 研究会	2012年8月	東京	204名
第6回 HTLV-1 研究会	2013年8月	東京	222名
第1回学術集会	2014年8月	東京	271名
第2回学術集会	2015年8月	東京	237名
第3回学術集会	2016年8月	鹿児島	366名
第4回学術集会	2017年8月	大阪	236名
第5回学術集会	2018年8月	東京	282名
第6回学術集会	2019年8月	宮崎	308名

(6) 寄附を必要とする理由:

約300名の参加が予定され、基礎・臨床の垣根を越えた幅広いプログラムで最新の情報が発信できるよう、鋭意準備を進めております。本学会の開催に要する費用は、全体で6,855千円と推算されます。この必要経費は、本来、主催団体の負担や参加費でまかなうべきところではございますが、その金額には限度がございます。

本学会事務局といたしましては、学会の準備・運営にあたり、極力無駄を廃止、経費節減に努めてまいり所存ではございますが、関係各方面からのご寄附に頼らざるを得ないのが実情でございます。つきましては参加登録費による負担分2,555千円、セミナー共催金2,000千円、広告掲載料800千円を除く不足額1,500千円を寄附金にて充当したいと考えております。

諸経費御多端の折、誠に恐縮と存じますが、この会議が多なる成果をあげ、HTLV-1研究のさらなる研究の発展及び関係各界の発展にも寄与することをご配慮いただきまして、是非ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

7. 収支予算

収入の部

区分	内訳	合計	
登録料収入	会員（医師）事前@9,000円 × 70名	参加者 300名 2,335,000円	
	会員（非医師）事前@6,000円 × 50名		
	非会員 事前@11,000円 × 50名		
	学生 事前@3,000円 × 25名		
	会員（医師）当日@10,000円 × 25名		
	会員（非医師）当日@7,000円 × 10名		
	非会員 当日@12,000円 × 30名		
	学生 当日@4,000円 × 5名		
	患者 事前/当日@4,000円 × 5名		
	招待者/賛助会員 × 25名		
	懇親会参加費		懇親会参加者
	一般 @2,000円 × 100名		120名
学生 @1,000円 × 20名	220,000円		
	登録料収入計	2,550,000円	
寄附/助成金		1,500,000円	
協賛金	セミナースポンサー	2,000,000円	
	広告料	800,000円	
		6,855,000円	

支出の部

区分	内訳	合計
事前準備費	委員会活動費	100,000円
	印刷制作費	800,000円
	通信運搬費	100,000円
	広報宣伝費	330,000円
	参加登録処理費	900,000円
	抄録受付処理費	400,000円
	業務委託費	500,000円
当日運営費	会場費	1,500,000円
	機材費	800,000円
	看板制作費	200,000円
	当日運営人件費	500,000円
	招聘費	200,000円
	会議費	300,000円
	懇親会費	220,000円
予備費		5,000円
		6,855,000円

8. 寄附金募集要項

- 1) 募金名称： 第7回日本 HTLV-1 学会学術集会
- 2) 主催機関の名称および責任者：
第7回日本 HTLV-1 学会学術集会
会長 松岡 雅雄
(熊本大学生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科学 教授)
- 3) 募金の目標額： 1,500,000 円
- 4) 募金対象先： 医療品関連企業、医療機器メーカーその他
- 5) 募集期間： 2020年8月1日～2021年11月4日まで
- 6) 寄附金の使途：
第7回学術集会の準備運営および関連諸行事の費用に充当
- 7) 寄附金の申し込み方法：
第7回日本 HTLV-1 学会学術集会ウェブサイト(<http://htlv.umin.jp/2020/>)の「協賛申込」ページよりお申込みください。
- 8) 寄附金の支払い方法：
銀行名： 三菱 UFJ 銀行
店名： 新丸の内支店 (422)
口座番号： (普通) 4072713
口座名(フリガナ)： 第7回日本 HTLV-1 学会学術集会
(ダイナナカイニホンエイチテイエルブイワンガツカイガクジュツシユウカイ)

※寄附金に関する請求書の発行は行っておりませんので、ご了承ください。

※領収書をご希望場合は、「協賛申込」時にお知らせください。

- 9) 税法上の優遇措置： 無し

9. お問い合わせ先

運営事務局

〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング 13 階

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン内

第7回日本 HTLV-1 学会学術集会 運営事務局

TEL : 03-5657-0777 FAX : 03-3452-8550

E-mail : htlv-1@jtbcom.co.jp

第7回日本 HTLV-1 学会学術集会 協賛申込（オンライン）について

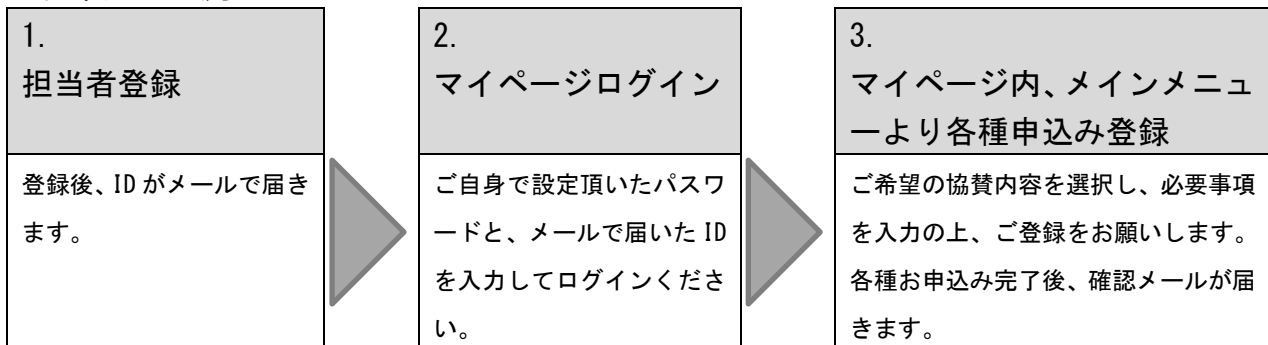
第7回日本 HTLV-1 学会学術集会の各種協賛申込みは、オンライン登録を採用させていただいております。FAXの未着、お申込情報の誤入力等を防ぐため、お手数ではございますが、オンライン登録にご協力頂きたくお願い申し上げます。

インターネット環境のない場合は、運営事務局までお問合せください。

学術集会ホームページ内「協賛受付」より、ご登録をお願いいたします。

学術集会ホームページ URL : <http://htlv.umin.jp/2020/>

<お申込みの流れ>



※推奨ブラウザ

Internet Explorer 11以降、Firefox 23.0以降、Chrome 28.0以降

※個人情報の利用目的

お名前、メールアドレス等の個人情報は、協賛申込に関して、請求書、領収書、本件に関する連絡以外の目的には利用しません。又、個人情報は第三者へは開示いたしません。

【お問合せ先】

第7回日本 HTLV-1 学会学術集会 運営事務局

〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング 13階

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン内

TEL : 03-5657-0777 FAX : 03-3452-8550

E-mail : htlv-1@jtbcom.co.jp